

平成27年度行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	自殺対策関係事業			担当部局	障害保健福祉部		作成責任者		
事業開始年度	平成20年度	事業終了(予定)年度	平成31年度	担当課室	精神・障害保健課		富澤 一郎		
会計区分	一般会計			政策・施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	自殺対策基本法第17・18条			関係する計画、通知等	自殺総合対策大綱 等				
主要政策・施策	自殺対策			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	自殺対策基本法では、第17条に自殺未遂者に対する支援、第18条に自殺者の親族等に対して支援を行うべきと定められているところであるが、自殺未遂者や自殺遺族、周囲の人々に対する支援を行う専門職に対する研修等を行うことにより、自殺未遂者・自殺遺族等の精神的ケアを一層充実させることを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	自殺未遂者の再度の自殺を防ぐために、入院中及び退院後の心理的ケアを中心に、医師、看護師、保健師等を主に対象にした研修を開催する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	11	7	7	4	4		
	執行額	8	7	7					
執行率(%)		73%	100%	100%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度	28年度
	自殺者数の減少(達成度は前年度自殺者数を基準とした減少目標の達成率)。	自殺者数	成果実績	人	27,858	27,283	25,427		
			目標値	人	30,651	27,858	27,283	24,428	
			達成度	%	110%	102%	107%		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
自殺未遂者ケア研修の開催回数	活動実績	回	4	4	4				
	当初見込み	回	4	4	4	2			
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	分子の定義/分母の定義		単位当たりコスト	円	2,031,750	1,837,500	1,776,600	1,783,000	
	X:「執行額」 Y:「研修会の開催回数」	計算式	X / Y	8百万円/4回	7百万円/4回	7百万円/4回	4百万円/2回		
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	自殺未遂者ケア対策費	4	4						
	計	4	4						

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	年間約3万人の自殺があるが、未遂者はその10倍いると言われており、ニーズは高い。日本の自殺未遂者救急医療のトップレベルの専門家を講師とする事業であり、国費を投入して実施する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	自治体ごとに実施するほうが開催回数が増加し、1回あたりの受講人数は少なく、逆に効率が悪い。また、講師をできるほどの専門家も少ない。国がまとめて実施するのが効率的である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	自殺対策は喫緊の政策課題である。未遂者ケア技術の向上を図ることは自殺予防につながり、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	競争入札によって選定されている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	受講者からは受講料は徴収しないが、自殺予防は国家的事業であり、徴収しないことが妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	最低価格落札を行い、非常に少額の価格となった結果、必然的にコスト削減となっている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業開催に必要な経費のみに支出されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	自殺者数は減少しており、成果目標と見合っている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	ハイリスク者に直接接する救急医療従事者への研修は、自殺予防への実効性が非常に高い。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	事業計画どおり、適正に開催されている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	活動実績に示す通り、年間で一定回数の研修等を実施することにより、成果指標たる自殺者数の減少として、平成24年から3年連続で3万人を切るなど、高い実績を上げていていると考える。			
	改善の方向性	事業の実施状況を踏まえ、27年度予算において4百万円に削減を行ったところであり、事業の実施内容について見直しを行っているところ。今後も事業の実施状況を踏まえつつ、施策の推進に必要な予算の確保を行う。			
外部有識者の所見					
心を病んでいる人は予想外に多く、心療内科医の手が足りない程である。どのように自殺者を思い留ませ、遺族の心のケアを如何にするかは大きな問題であるため、当事業の必要性を認める。限られている予算であるが、専門家の研修以外の方策もあっていいのではないかと考える。(増田)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
一部改善の	外部有識者の指摘を踏まえ、限られた予算の中でより効果的な他の手法がないか検討すること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	本事業の実施にあたっては、一般競争入札を行い最低価格落札を行うことで、限られた予算の中で効果的な執行に努めているところ。また、別の事業として、自殺防止対策事業や地域自殺対策推進センター(仮称)事業等実施しているところ。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	482	平成23年度	438	平成24年度	382
平成25年度	746	平成26年度	744		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
7百万円



【一般競争入札】

A. 株式会社フォーラムワン
7百万円

自殺未遂者ケア研修の開催

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.株式会社フォーラムワン			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	講師等旅費	2			
謝金	講師等謝金	1			
印刷製本費	資料等印刷	1			
借料	会議室等借料	1			
賃金	運営スタッフ賃金	1			
その他	通信運搬費 等	1			
計		7	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社フォーラムワン	自殺未遂者研修の開催	74		99%